

ost ARK SERIES プッシュオープンバー

■用途:非常口等 ■納期:受注生産品●(P4参照)

新製品

この製品は指定建物錠です。錠の性能表示はP902をご参照ください。



写真はプッシュオープンバー ostARK (オストアーク) U9APBT50S-2型

バーを押すだけのワンアクションで解錠・開扉。パニック時を想定した大型施設に最適な非常口用錠前です。

■誰にでも簡単に操作可能なプッシュオープンバー。
不特定多数が利用する商業施設等で火災や地震などが発生した場合、非常口に大勢の人が殺到してパニック状態になる可能性があります。そのようなパニック時でも、プッシュオープンバーなら操作方法を知らない利用者でも簡単に解錠・開扉が可能です。また、非常口の前に大勢が押し寄せ解錠操作が困難な場合や、暗闇の中でも、身体でプッシュオープンバーを押すことで扉を開くことができます。

■出寸法が少なく、指挟みの危険性が少ない水平駆動方式です。
室内側のバーは水平に動く設計ですので、指挟み等に考慮しています。また、扉面からの出寸法が小さく、通行時にぶつかったり荷物を引っ掛けにくい設計です。空間の意匠を損なわないシンプルデザインです。

■電気錠にも対応可能です。
施工・取付時に、通電時解錠または通電時施錠の機能を選択・切替できます。APBT/APBRは同一ケースです。錠ケースのフロント部に内蔵されたスイッチで、機能の切替が簡単に行えます。(PAT)

■バー操作で扉が解錠されたことを知らせる非常解錠信号をとることができるEHタイプもあります。
室内側のプッシュオープンバーを操作した時のみ、非常解錠信号を出力する仕様です。必要な場合は監視盤等で警報保持を行ってください。

■常時解錠モードに切替可能です。
自動施錠の錠前ですが、錠ケースのフロント部に内蔵されたスイッチで、一般錠でも常時解錠へ設定を変更できます。

■マスターキー対応が可能です。
U9、PR、LB、JNシリンダーが装着可能ですので、大規模な物件のキープランにも対応できます。



室内側の施工イメージ

操作性・安全性は「実利用者研究機構」監修で検証実験を実施しました。

検証実験では、7特性[※]の被験者全員から「高い安全性と使いやすさ」の評価をいただきました。

※7特性：肢体不自由・視覚障がい・聴覚障がい・内部障がい・高齢者・子ども・乳幼児連れ

JITSUKen(実利用者研究機構)とは、内閣府認証の特定非営利活動法人(NPO)です。「いつも答えは実利用者のそばにある」という考えのもと「関わる人全員のためになる、現実的で効果的な方法」をコンセプトに研究開発と教育を行う専門機関です。

機能

装着可能シリンダー	型式	外側	略図	内側	用途例
U9 PR LB JN	PBT*S-2	シリンダー		なし	非常口
		レバーハンドル		プッシュオープンバー	
	PBT*S-0	なし		なし	非常口
		レバーハンドル		プッシュオープンバー	
U9 PR LB JN	APBT*S-2 APBR*S-2	シリンダー		なし	非常口
		レバーハンドル		プッシュオープンバー	
	APBT*S-0 APBR*S-0	なし		なし	非常口
		レバーハンドル		プッシュオープンバー	

●シリーズ名の次にある*は、レバーハンドル形状を示します。

仕様

バックセット (mm)	76
ケース深さ (mm)	128
スペーシング (mm)	95
扉厚可能範囲 (mm以上~mm未満)	35~36・36~38・38~40・40~42・42~44 44~46・46~48・48~50・50~52・52~54 54~56・56~58・58~60・60~62・62~64 64~66
有効チリ寸法 (mm)	6以内
左右勝手	共通

(注1) 扉厚が35~36の場合は、丸座の下に製品に同梱されているライナー (t1.5) を敷いて取り付けてください。

(注2) 扉には必ず自閉装置 (ドアクローザ等) をご使用ください。

(注3) 推奨取付位置は、床面からプッシュオープンバーまで900mmです。

(注4) 対応扉幅は700~1,500mmです。

※プッシュオープンバーのワイド幅は600mmです。

※扉幅に対し、プッシュオープンバーのワイド幅は60%以上を推奨します。

(注5) 緊急避難時など、扉に側圧がかかった状態でも操作ができるように、EN規格で定められた解除力 (無負荷時に80N以下、側圧1,000N負荷時に220N以下で解除可能) を満足しています。

※扉を開く力は扉重量やドアクローザの閉扉力、扉を押す位置により異なります。

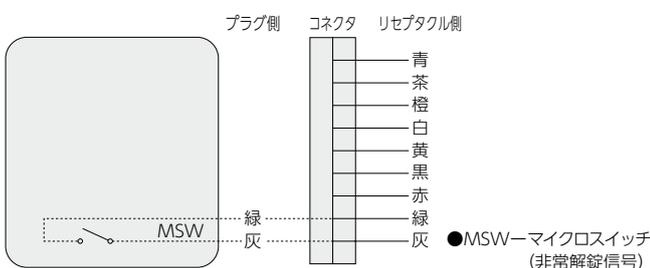
(注6) 電気錠~電気錠操作盤 (制御盤) 間の配線距離については、使用する電気錠操作盤 (制御盤) のページにてご確認ください。

[PBT*S-2EH] (一般錠/非常解錠信号出力型)

電気仕様

名称	定格		
マイクロスイッチ	電圧 DC24V	電流 2mA~100mA	プッシュオープンバー 操作時のみ出力
リード線	長さ400mm (9Pコネクター付) AWG-24 UL1007 耐熱ビニール電線		

内部回路



材質・仕上・納期一覧

●:受注生産品

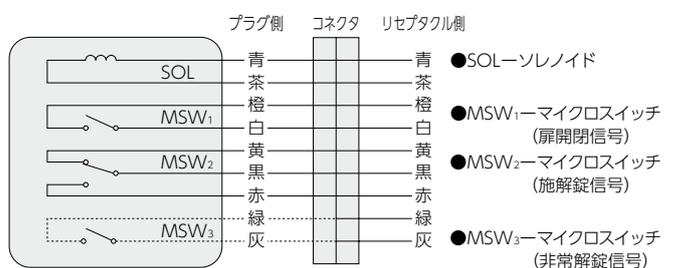
レバーハンドル	材質・仕上	ステンレス製
		ST
50		●
51		●
52		●
64		●
66		●

[APBT/R*S-2EH] (電気錠/非常解錠信号出力型)

電気仕様

名称	定格			
ソレノイド	電圧 DC24V (±20%)	電流 0.3A (±20%)	通電時間 連続	通電率 1
マイクロスイッチ1	電圧 DC24V	電流 2mA~100mA	有効チリ寸法 6mm以内	
マイクロスイッチ2	電圧 DC24V	電流 2mA~100mA		
マイクロスイッチ3	電圧 DC24V	電流 2mA~100mA	プッシュオープンバー 操作時のみ出力	
リード線	長さ400mm (9Pコネクター付) AWG-24 UL1007 耐熱ビニール電線			
使用温度範囲	-10℃~50℃ (結露、氷結しないこと)			

内部回路



ost
ARK

場所による非常錠の選定方法

当社では想定される設置場所によって、解錠操作の異なる2タイプの非常錠をご用意しています。

非常錠を選定される場合には、各地域の火災予防条例に従って錠前をお選びください。ただし、非常錠の決定は各現場ごとの消防計画により、総合的な見地より判断される場合もありますので、必ず所轄の消防署予防課担当官に事前に確認していただくようお願い申し上げます。

プッシュオープンバー

病院・公共施設・空港・商業施設など大型施設の非常口

緊急時の操作方法を全く知らない利用者が集まる施設／避難時に大勢が殺到する恐れのある非常口



写真はプッシュオープンバー ostARK (オストアーク) U9APBT50S-2型

新製品

パニック時を想定した〈プッシュオープンバー〉なら、バーを押すだけのワンアクションで解錠・開扉。安全な緊急避難が可能です。

場所による
非常錠の
選定方法



緊急避難時のイメージ

■海外では広く普及しているプッシュオープンバー

国内ではまだ非常錠が主流ですが、海外では利用者が一定数を越える大規模施設には、災害時のパニックを想定してプッシュオープンバーの設置が義務づけられています。^{*} 年々増加している外国人観光客にとっては、プッシュオープンバーが一般的といえます。2020年の東京オリンピックに備え、誰でも簡単に操作できるプッシュオープンバーの設置をおすすめします。

^{*}国や州によって法規は様々です。

■緊急時にパニックになっても開扉可能なバーを採用

日常的に使用しているレバーハンドルでも、パニックをおこすと操作できなくなることがあります。プッシュオープンバーならバーを押すだけのワンアクションで扉を解錠・開扉することができます。

バーは扉幅に近い寸法があるため、非常口の前に大勢が押し寄せて扉に身体を押し付けられた場合や、暗闇の中でも、身体でプッシュオープンバーを押すことで扉を開くことができます。



■非常口に適した金具

両開き扉・親子扉の防火扉にラッチを設ける場合には、親扉を開けると連動して子扉が自動的に解錠し開放可能となり、親扉を閉めると子扉が自動的に固定するフランス落しの構造とすることが望めます。それには、自動フラッシュボルトAFB02型 (P492参照) が適しています。

非常開装置付錠

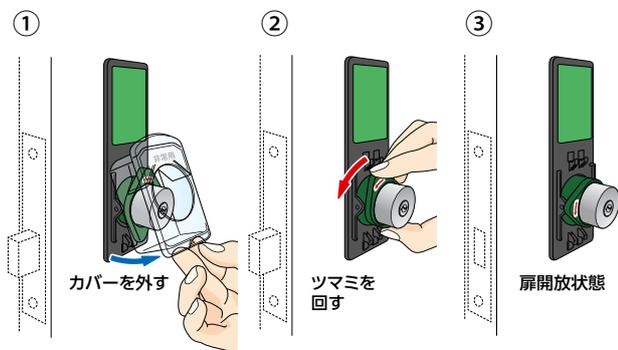
オフィス等の、利用者が限定された非常口

利用者に緊急時の操作方法を周知できる施設/少人数が避難できれば良い小規模な施設

	開放方法	適合錠				
		本締錠	箱錠	グレモン錠	引戸錠	電気錠
	プレートを押すとデッドボルトが引っ込み解錠、開放できます。	DA-EP				AL3M-EP
	プラスチックカバーを外して緑色のつまみを回し、ハンドルを回すことにより開放できます。(本締錠のみの場合はハンドル操作は不要) カバーを割って使用するタイプもあります。	DA-E	LHS(A)-E MHS(A)-E LA-E MA-E LAT-E LAL-E UUT-E	GT60-E GT50-E	FG3-E	AUS-E AUT-E AUTA-E AL3M-E
	円筒状のプラスチックカバー奥のサムターンを回して解錠し、さらにハンドルを回すことにより開放できます。(本締錠のみの場合はハンドル操作は不要)	DA-M DH-M	HM-M 145HM-M MHS-M MHT-M MA-M LHS-M LHT-M LA-M			

■非常開装置の開放方法 (-E型の場合)

- ①プラスチックカバーを外す。
- ②緑色のつまみを矢印の方向に回す。
- ③扉が開放できる状態になる。

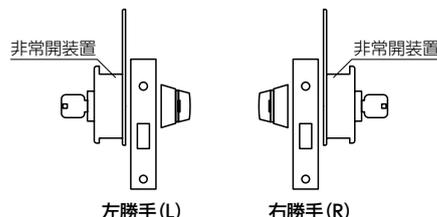


■左右勝手があります

フロント(戸先)側から見て、非常開装置を装着する側の左右をご指示ください。(非常開装置が右側の場合は右(R)勝手、左側の場合は左(L)勝手になります。)

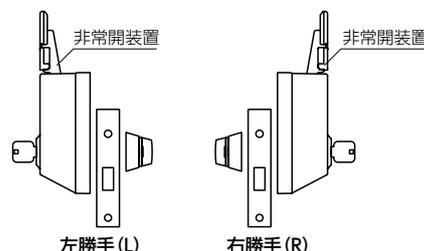
-2EDEの場合は「シリンダー付」が装着する側の左右をご指示ください。-4EEの場合は左右勝手不要です。

●つまみ回転タイプの左右勝手の見方



ワンタッチ非常開装置付の場合は、フロント(戸先)側から見てワンタッチ非常開装置を装着する側の左右をご指示ください。

●プッシャータイプの左右勝手の見方



■非常開動作はJLMA規格の-P□に示してあります。

□を表す記号

記号	錠前の種類
1	キーを用いず、屋内から開放動作で解錠し、かつ開放する非常専用錠。(ワンタッチタイプ)
2	キーを用いず、ひとつの動作で容易に解錠できる非常専用錠。(非常開装置付)
3	キーを用いず、ひとつの動作で容易に解錠できる錠。(ノブやサムターンに樹脂カバー付)

場所による
非常錠の
選定方法